

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書		
高等部 第3学年 単Ⅱ類型	日常生活の指導			
目標	<p>(知) 学校生活で日常的に行われる諸活動を通して、生活の自立に必要な知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(思) 生活に必要な事柄について触れ、課題や解決策に気づき、考えたことを表現しようとする。</p> <p>(学) 毎日の継続した諸活動に自分から取り組み、より良い生活習慣の実現に向けて、生活を工夫しようとする態度を養う。</p>			
期	単元名・指導内容	単元目標	授業形態	時数
1 学 期	<p>「登校時(1)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、靴の着脱、荷物の片付け、着替え など 「朝の会(1)」 ・挨拶、健康観察、日課予定、天気、身だしなみ確認、先生の話 など 「集団参加や集団内の役割について(1)」 ・言葉遣い(敬語)、係活動、周囲との関わり方 など 「給食(1)」 ・給食の準備、手洗い、食事、片付け など 「トイレの使い方(1)」 ・手洗い、うがい、衛生 など 「整理整頓(1)」 ・机上整理、ロッカー、更衣室の利用 など 「教室清掃(1)」 ・係分担、掃除の仕方 など 「帰りの準備(1)」 ・翌日の日課予定、下校方法、荷物の準備、一日の振り返り、挨拶 など 「下校(1)」 ・挨拶、靴の着脱 など 	<p>(知) 登下校の挨拶を進んでしたり、持ち物の整理、片付けをしたりすることができる。暦や時計の使い方を理解する。トイレのマナーや食事のマナーを守ることができる。</p> <p>(思) 場面に応じて自分で身だしなみを整えることができる。見聞きしたことや経験したこと、自分の意見等を相手に分かるように伝えたり、話したりすることができる。</p> <p>(学) 健康で安全な生活をするよう心掛けて行動することができる。自分の役割を理解し、他者と協力して活動しようとすることができる。</p>	学級 個別	78
1 学期授業時数				78
2 学 期	<p>「登校時(2)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、靴の着脱、荷物の片付け、着替え など 「朝の会(2)」 ・挨拶、健康観察、日課予定、天気、身だしなみ確認、先生の話 など 「集団参加や集団内の役割について(2)」 ・言葉遣い(敬語)、係活動、周囲との関わり方 など 「給食(2)」 ・給食の準備、手洗い、食事、片付け など 「トイレの使い方(2)」 ・手洗い、うがい、衛生 など 「整理整頓(2)」 ・机上整理、ロッカー、更衣室の利用 など 「教室清掃(2)」 ・係分担、掃除の仕方 など 「帰りの準備(2)」 ・翌日の日課予定、下校方法、荷物の準備、一日の振り返り、挨拶 など 「下校(2)」 ・挨拶、靴の着脱 など 		学級 個別	90
2 学期授業時数				90
3 学 期	<p>「登校時(3)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、靴の着脱、荷物の片付け、着替え など 「朝の会(3)」 ・挨拶、健康観察、日課予定、天気、身だしなみ確認、先生の話 など 「集団参加や集団内の役割について(3)」 ・言葉遣い(敬語)、係活動、周囲との関わり方 など 「給食(3)」 ・給食の準備、手洗い、食事、片付け など 「トイレの使い方(3)」 ・手洗い、うがい、衛生 など 「整理整頓(3)」 ・机上整理、ロッカー、更衣室の利用 など 「教室清掃(3)」 ・係分担、掃除の仕方 など 「帰りの準備(3)」 ・翌日の日課予定、下校方法、荷物の準備、一日の振り返り、挨拶 など 「下校(3)」 ・挨拶、靴の着脱 など 		学級 個別	42
3 学期授業時数				42
総授業時数				210

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書		
高等部 第3学年 単一Ⅱ類型	作業学習 (織り)			
目標	<p>(知) 職業について関心をもち、将来の職業生活に必要な基本的な知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(思) 将来の職業生活に必要な事柄を見出し、自分の課題に気づき、課題を解決する力を養う。</p> <p>製作から販売までの流れを理解し、衛生面や丁寧さを意識して作業する態度を養う。</p> <p>(学) 自分の役割について気づき、意欲や見通しをもって取り組む態度を養う。</p> <p>生産活動を通して、社会とつながる喜びを味わう態度を養う。</p>			
期	単元名・指導内容	単元目標	授業形態	時数
1 学 期	「給食記録・清掃(1)」 ・給食時の記録 ・教室等の清掃	(知) 記録や清掃の手順や流れについて理解し、活動に見通しをもつことができる。 (思) 自分が取り組む活動を選択し、集団の中で自ら活動することができる。 (学) 仲間と協力し、効率を考えながら取り組む態度を養う。	学級	19.5
	「オリエンテーション」 ・教室の使い方やルールの確認 ・使用する道具等の使い方 ・作業学習を始めるための準備等	(知) 作業学習の内容について知り、活動に見通しをもつことができる。 (思) 自分が取り組む活動内容について理解し、目標をもつことができる。 (学) 一緒に活動する仲間と協力して活動をやり遂げようとする態度を養う。	グループ	7
	「織り織の使い方を知る」 ・糸の掛け方 ・織り方 など	(知) 織り織の各部の名前や役割、基本的な糸の掛け方・織り方を理解し、正確に操作する技能を身に付けることができる。 織りに適した糸の選び方や織り織の安全な使い方方を身に付けることができる。 一定の幅や強さで織ることができる。 (思) 糸の色や素材の組み合わせを考え、オリジナリティのある作品を工夫して製作する力を養うことができる。 織りの過程で起こる問題(糸のたるみ、色のバランスなど)に気づき、改善方法を考えることができる。 振り返り、良い点や改善点を見出し、次の製作に生かすことができる。 (学) 織りの過程を楽しみながら集中して取り組む姿勢を養うことができる。 他者と材料を共有したり、困ったときに助け合ったりする中で協力することができる。 さまりが完成した達成感を味わい、次の製作への意欲を高めることができる。	グループ	10
	「布を織る」 ・糸の掛け方 ・布を織る	(知) 織り織の各部の名前や役割、基本的な糸の掛け方・織り方を理解し、正確に操作する技能を身に付けることができる。 織りに適した糸の選び方や織り織の安全な使い方方を身に付けることができる。 一定の幅や強さで織ることができる。 (思) 糸の色や素材の組み合わせを考え、オリジナリティのある作品を工夫して製作する力を養うことができる。 織りの過程で起こる問題(糸のたるみ、色のバランスなど)に気づき、改善方法を考えることができる。 振り返り、良い点や改善点を見出し、次の製作に生かすことができる。 (学) 織りの過程を楽しみながら集中して取り組む姿勢を養うことができる。 他者と材料を共有したり、困ったときに助け合ったりする中で協力することができる。 さまりが完成した達成感を味わい、次の製作への意欲を高めることができる。	グループ	50
	「専門性の高い製品作り(1)」 ・社会人講師による指導	(知) 専門性の高い製品作りの手順を理解し、丁寧にに取り組むことができる。 素材や道具の扱い方について理解することができる。 (思) 自分の役割を理解し、必要な道具を手配したり、作業のポイントを確認したりしながら取り組むことができる。 製作を通して素材の特性に気づき、質の良い製品に仕上がるように工夫することができる。 (学) 素材や道具にも関心をもち、試行錯誤しながら創造する喜びを味わう態度を養う。	グループ	14
「1学期のまとめ」 ・1学期の振り返り ・教室の整理整頓	(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする気持ちを養う。	グループ	3.5	
1 学期授業時数				104
2 学 期	「給食記録・清掃(2)」 ・給食時の記録 ・教室等の清掃	(知) 記録や清掃の手順や流れについて理解し、活動に見通しをもつことができる。 (思) 自分が取り組む活動を選択し、集団の中で自ら活動することができる。 (学) 仲間と協力し、効率を考えながら取り組む態度を養う。	学級	22.5
	「さまりて製品作り(1)」 ・ミシン ・コースター ・バッグ ・ネックストラップ ・小物 など	(知) ミシンや縫製道具等の使い方を理解し、基本的な操作ができる。 製作の手順を理解し作業を正確に行ったり、布素材の特徴を知り、適切な材料を選んだりすることができる。 (思) 製作物のデザインや色の組み合わせを考え、自分なりに工夫しようとするところがある。 作業中に発生する課題に気づき、解決方法を考えながら作業を進めることができる。 できあがった製品を評価し、次の製作に向けた改善点を見出すことができる。 (学) ものづくりの楽しさや達成感を味わい、意欲的に作業に取り組むことができる。 自分の役割を理解し、友達と協力しながら製作活動を進めることができる。	グループ	44
	「文化祭に向けた取組」 ・店づくり ・製品の装飾 ・接客練習 など	(知) 商品の陳列や接客の基本的な方法を身に付けることができる。 接客時の基本的な言葉遣いやマナーを身に付け、適切に対応できる。 売り上げ記録や金額管理の方法を理解し、正確に記録することができる。 (思) 店のレイアウトや商品の並べ方を工夫し、見やすく魅力的な店づくりを考えることができる。 販売活動を振り返り、良かった点や改善点を見出し、次に生かそうとするところがある。 (学) 販売活動の意義を理解し、意欲的に取り組むことができる。 自分の役割を理解し、責任をもって活動することができる。 友達と協力して目標を達成し、達成感を共有することで自己肯定感を高めることができる。	グループ	22
	「専門性の高い製品作り(2)」 ・社会人講師による指導	(知) 専門性の高い製品作りの手順を理解し、丁寧にに取り組むことができる。 素材や道具の扱い方について理解することができる。 (思) 自分の役割を理解し、必要な道具を手配したり、作業のポイントを確認したりしながら取り組むことができる。 製作を通して素材の特性に気づき、質の良い製品に仕上がるように工夫することができる。 (学) 素材や道具にも関心をもち、試行錯誤しながら創造する喜びを味わう態度を養う。	グループ	14
	「さまりて製品作り(2)」 「コースター」に向けて ・カードケース ・キーホルダー ・ジュケル ・ヘアバンド など	(知) ミシンや縫製道具等の使い方を理解し、基本的な操作ができる。 製作の手順を理解し作業を正確に行ったり、布素材の特徴を知り、適切な材料を選んだりすることができる。 (思) 製作物のデザインや色の組み合わせを考え、自分なりに工夫しようとするところがある。 作業中に発生する課題に気づき、解決方法を考えながら作業を進めることができる。 できあがった製品を評価し、次の製作に向けた改善点を見出すことができる。 (学) ものづくりの楽しさや達成感を味わい、意欲的に作業に取り組むことができる。 自分の役割を理解し、友達と協力しながら製作活動を進めることができる。	グループ	14
「2学期のまとめ」 ・2学期の振り返り ・教室の整理整頓	(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする気持ちを養う。	グループ	3.5	
2 学期授業時数				120
3 学 期	「給食記録・清掃(3)」 ・給食時の記録 ・教室等の清掃	(知) 記録や清掃の手順や流れについて理解し、活動に見通しをもつことができる。 (思) 自分が取り組む活動を選択し、集団の中で自ら活動することができる。 (学) 仲間と協力し、効率を考えながら取り組む態度を養う。	学級	10.5
	「さまりて製品作り(3)」 「みなフェスティバルに向けて」 ・トートバッグ ・ポーチ ・ペンケース など	(知) ミシンや縫製道具等の使い方を理解し、基本的な操作ができる。 製作の手順を理解し作業を正確に行ったり、布素材の特徴を知り、適切な材料を選んだりすることができる。 (思) 製作物のデザインや色の組み合わせを考え、自分なりに工夫しようとするところがある。 作業中に発生する課題に気づき、解決方法を考えながら作業を進めることができる。 できあがった製品を評価し、次の製作に向けた改善点を見出すことができる。 (学) ものづくりの楽しさや達成感を味わい、意欲的に作業に取り組むことができる。 自分の役割を理解し、友達と協力しながら製作活動を進めることができる。	グループ	41
	「1年間の振り返り」 ・1年間の振り返り ・教室等の整理整頓や掃除	(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする気持ちを養う。	グループ	4.5
3 学期授業時数				56
総授業時数				280

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書		
高等部 第3学年 単一Ⅱ類型	作業学習 (陶芸)			
目標	<p>(知) 職業について関心をもち、将来の職業生活に必要な基本的な知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(思) 将来の職業生活に必要な事柄を見出して自分の課題に気づき、課題を解決する力を養う。</p> <p>製作から販売までの流れを理解し、衛生面や丁寧さを意識して作業する態度を養う。</p> <p>(学) 自分の役割について気づき、意欲や見通しをもって取り組む態度を養う。</p> <p>生産活動を通して、社会とつながる喜びを味わう態度を養う。</p>			
期	単元名・指導内容	単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学 期	「給食配膳・清掃(1)」 ・給食時の配膳 ・教室等の清掃	(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、活動に見通しをもつことができる。 (思) 自分が取り組む活動を選択し、集団の中で自ら活動することができる。 (学) 仲間と協力し、効率を考えながら取り組む態度を養う。	学級	19.5
	「オリエンテーション」 ・教室の使い方やルールの確認 ・使用する道具等の使い方 ・作業学習を始めるための準備等	(知) 作業学習の内容について知り、活動に見通しをもつことができる。 (思) 自分が取り組む活動内容について理解し、目標をもつことができる。 (学) 一緒に活動する仲間と協力して活動をやり遂げようとする態度を養う。	グループ	7
	「製品作り」 ・丸皿 ・四角皿など	(知) 成形板やたたら板、伸ばし棒等の使い方を理解し、基本的な操作ができる。 製作の手順を理解し作業を正確に行ったり、素材の特徴を知り、適切な材料や道具を選んだりすることができる。 (思) 製作物のデザインや色の組み合わせを考え、自分なりに工夫しようとする事ができる。 作業中に発生する課題に気づき、解決方法を考えながら作業を進めることができる。 できあがった製品を評価し、次回の製作に向けた改善点を見出すことができる。 (学) ものづくりの楽しさや達成感を味わい、意欲的に作業に取り組むことができる。 自分の役割を理解し、友達と協力しながら製作活動を進めることができる。	グループ	35
	「文化祭に向けた製品作り」 ・丸皿 ・四角皿 ・茶わん ・茶味など	(知) 土の種類や特徴を理解し、製作物に応じて適切な材料や道具を選び、加工する技術を身に付けることができる。 製作の手順を理解し、正確に作業を行うことができる。 道具の安全な使い方を身に付け、適切に使用することができる。 (思) 製作物のデザインやサイズを考え、自分なりに工夫しようとする事ができる。 作業中に発生する課題に気づき、解決方法を考えながら作業を進めることができる。 できあがった製品を評価し、次回の製作に向けた改善点を見出すことができる。 (学) ものづくりの楽しさや達成感を味わい、意欲的に作業に取り組むことができる。 自分の役割を理解し、友達と協力しながら製作活動を進めることができる。	グループ	25
	「専門性の高い製品作り(1)」 ・社会人講師による指導	(知) 専門性の高い製品作りの手順を理解し、丁寧に取り組むことができる。 新しい素材や道具の扱い方について理解することができる。 (思) 自分の役割を理解し、必要な道具を準備したり、作業のポイントを確認したりしながら取り組むことができる。 製作を通して素材の特性に気づき、質の良い製品に仕上がるように工夫することができる。 (学) 扱ったことのない素材や道具にも親しみを持ち、試行錯誤しながら創造する喜びを味わう態度を養う。	グループ	14
「1学期のまとめ」 ・1学期のまとめや振り返り ・教室の整理整頓	(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする気持ちを養う。	グループ	3.5	
Ⅰ学期授業時数				104
Ⅱ 学 期	「給食配膳・清掃(2)」 ・給食時の配膳 ・教室等の清掃	(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、活動に見通しをもつことができる。 (思) 自分が取り組む活動を選択し、集団の中で自ら活動することができる。 (学) 仲間と協力し、効率を考えながら取り組む態度を養う。	学級	22.5
	「様々な種類の土や釉薬を使った製品作り」	(知) 五斗土、黒陶土、赤土などの特徴を理解し、道具(成形板、石膏、ろくろ)等の使い方や安全な取り扱い方を身に付けることができる。 製作の手順を理解し作業を正確に行ったり、素材の特徴を理解し、適切な材料や道具を選んだりすることができる。 (思) 製作物のデザインや色の組み合わせを考え、自分なりに工夫しようとする事ができる。 作業中に発生する課題に気づき、解決方法を考えながら作業を進めることができる。 できあがった製品を評価し、次回の製作に向けた改善点を見出すことができる。 (学) ものづくりの楽しさや達成感を味わい、意欲的に作業に取り組むことができる。 自分の役割を理解し、友達と協力しながら製作活動を進めることができる。	グループ	37
	「文化祭に向けた製品作り」 ・遠のみ茶わん ・マグカップ ・コップ ・箸など	(知) 素材の特徴を理解し、製法や道具の安全な取り扱い方を身に付けることができる。 製作の手順を理解し作業を正確に行うことができる。 (思) 製作物のデザインや色の組み合わせを考え、自分なりに工夫しようとする事ができる。 作業中に発生する課題に気づき、解決方法を考えながら作業を進めることができる。 できあがった製品を評価し、次回の製作に向けた改善点を見出すことができる。 (学) ものづくりの楽しさや達成感を味わい、意欲的に作業に取り組むことができる。 自分の役割を理解し、友達と協力しながら製作活動を進めることができる。 様々な素材を使用した製品を製作することで、自分の得意な作業やたい製品を見付けようとする態度を養う。	グループ	21
	「文化祭に向けた取組」 ・店づくり ・製品の袋詰め ・販売練習 など	(知) 商品の陳列や接客の基本的な方法を身に付けることができる。 接客時の基本的な言葉遣いやマナーを身に付け、適切に対応できる。 売り上げ記録や金銭管理の方法を理解し、正確に記録することができる。 (思) 店のレイアウトや商品の並べ方を工夫し、見やすく魅力的な店づくりを考えることができる。 販売活動振り返り、良かった点や改善点を見出し、次に生かそうとする事ができる。 (学) 販売活動の意義を理解し、意欲的に取り組もうとする事ができる。 自分の役割を理解し、責任をもって活動することができる。 友達と協力して目標を達成し、達成感を共有することで自己肯定感を高めることができる。	グループ	22
	「専門性の高い製品作り(2)」 ・社会人講師による指導	(知) 専門性の高い製品作りの手順を理解し、丁寧に取り組むことができる。 新しい素材や道具の扱い方について理解することができる。 (思) 自分の役割を理解し、必要な道具を準備したり、作業のポイントを確認したりしながら取り組むことができる。 製作を通して素材の特性に気づき、質の良い製品に仕上がるように工夫することができる。 (学) 扱ったことのない素材や道具にも親しみを持ち、試行錯誤しながら創造する喜びを味わう態度を養う。	グループ	14
「2学期のまとめ」 ・2学期のまとめや振り返り ・教室の整理整頓	(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする気持ちを養う。	グループ	3.5	
Ⅱ学期授業時数				120
Ⅲ 学 期	「給食配膳・清掃(3)」 ・給食時の配膳 ・教室等の清掃	(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、活動に見通しをもつことができる。 (思) 自分が取り組む活動を選択し、集団の中で自ら活動することができる。 (学) 仲間と協力し、効率を考えながら取り組む態度を養う。	学級	10.5
	「製品作り」 ・コップ ・マグカップ ・茶わん ・小物など	(知) 土の種類や特徴を理解し、製作物に応じて適切な材料や道具を選び、加工する技術を身に付けることができる。 製作の手順を理解し、正確に作業を行うことができる。 道具の安全な使い方を身に付け、適切に使用することができる。 (思) 製作物のデザインやサイズを考え、自分なりに工夫しようとする事ができる。 作業中に発生する課題に気づき、解決方法を考えながら作業を進めることができる。 できあがった製品を評価し、次回の製作に向けた改善点を見出すことができる。 (学) ものづくりの楽しさや達成感を味わい、意欲的に作業に取り組むことができる。 自分の役割を理解し、友達と協力しながら製作活動を進めることができる。	グループ	41
	「年間の振り返り」 ・1年間の振り返りやまとめ ・教室の整理整頓や掃除	(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする気持ちを養う。	グループ	4.5
Ⅲ学期授業時数				56
総授業時数				280

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書		
高等部 第3学年 単一Ⅱ類型	作業学習 (ハンドクラフト)			
目標	(知) 職業について関心をもち、将来の職業生活に必要な基本的な知識や技能を身に付けるようにする。 (思) 将来の職業生活に必要な事柄を見出して自分の課題に気付く、課題を解決する力を養う。 製作から販売までの流れを理解し、衛生面や丁寧さを意識して作業する態度を養う。 (学) 自分の役割について気付く、意欲や見通しをもって取り組む態度を養う。 生産活動を通して、社会とつながる喜びを味わう態度を養う。			
期	単元名・指導内容	単元目標	授業形態	時数
1 学期	「給食配膳・清掃(7)」 ・給食時の配膳 ・教室等の清掃	(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、活動に見通しをもつことができる。 (思) 自分が取り組む活動を選択し、集団の中で自ら活動することができる。 (学) 仲間と協力し、効率を考えながら取り組む態度を養う。	学級	39
	「オリエンテーション」 ・教室の使い方の確認 ・使用する道具等の使い方 ・作業学習を始めるための準備等	(知) 作業学習の内容について知り、活動に見通しをもつことができる。 (思) 自分が取り組む活動内容について理解し、目標をもつことができる。 (学) 一緒に活動する仲間と協力して活動をやり遂げようとする態度を養う。	グループ	7
	「ミシンを使用した製品作り」 ・ボケットティッシュカバー ・コスター ・コシュユ など	(知) ミシンやアイロン、裁縫道具等の使い方を理解し、基本的な操作ができる。 製作の手順を理解し作業を正確に行ったり、布素材の特徴を知り、適切な材料や道具を選んだりすることができる。 (思) 製作物のデザインや色の組み合わせを考え、自分なりに工夫しようとするすることができる。 作業中に発生する課題に気付く、解決方法を考えながら作業を進めることができる。 できあがった製品を評価し、次回の製作に向けた改善点を見出すことができる。 (学) ものづくりの楽しさや達成感を味わい、意欲的に作業に取り組むことができる。 自分の役割を理解し、友達と協力しながら製作活動を進めることができる。	グループ	35
	「紙を使用した製品作り」 ・御朱印帳 ・封筒 ・ポチ袋 ・カレンダー など	(知) 紙の種類や特徴を理解し、製作物に応じて適切な材料や道具を選び、加工する技術を身に付けることができる。 製作の手順を理解し、正確に作業を行うことができる。 道具(カッター、のり、定規など)の安全な使い方を身に付け、適切に使用することができる。 (思) 製作物のデザインやサイズを考え、自分なりに工夫しようとするすることができる。 作業中に発生する課題に気付く、解決方法を考えながら作業を進めることができる。 できあがった製品を評価し、次回の製作に向けた改善点を見出すことができる。 (学) ものづくりの楽しさや達成感を味わい、意欲的に作業に取り組むことができる。 自分の役割を理解し、友達と協力しながら製作活動を進めることができる。	グループ	25
	「専門性の高い製品作り(3)」 ・社会人講師による指導	(知) 専門性の高い製品作りの手順を理解し、丁寧に取り組むことができる。 新しい素材や道具の扱い方について理解することができる。 (思) 自分の役割を理解し、必要な道具を準備したり、作業のポイントを確認したりしながら取り組むことができる。 製作を通して素材の特性に気付く、質の良い製品に仕上がるように工夫することができる。 (学) 扱ったことのない素材や道具にも親しみをもち、試行錯誤しながら創造する喜びを味わう態度を養う。	グループ	14
「1学期のまとめ」 ・1学期のまとめや振り返り ・教室の整理整頓	(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする気持ちを養う。	グループ	3.5	
1 学期授業時数				123.5
2 学期	「給食配膳・清掃(8)」 ・給食時の配膳 ・教室等の清掃	(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、活動に見通しをもつことができる。 (思) 自分が取り組む活動を選択し、集団の中で自ら活動することができる。 (学) 仲間と協力し、効率を考えながら取り組む態度を養う。	学級	45
	「革やフェイクレザーを使用した製品作り」 ・キーケース ・ペンホルダー ・ペンケース など	(知) 革やフェイクレザーの特徴を理解し、道具(革用パンチ、目打ち、金具、接着剤)の使い方や安全な取り扱い方を身に付けることができる。 製作の手順を理解し作業を正確に行ったり、素材の特徴を理解し、適切な材料や道具を選んだりすることができる。 (思) 製作物のデザインや色の組み合わせを考え、自分なりに工夫しようとするすることができる。 作業中に発生する課題に気付く、解決方法を考えながら作業を進めることができる。 できあがった製品を評価し、次回の製作に向けた改善点を見出すことができる。 (学) ものづくりの楽しさや達成感を味わい、意欲的に作業に取り組むことができる。 自分の役割を理解し、友達と協力しながら製作活動を進めることができる。	グループ	23
	「様々な素材を使用した製品作り」 ・給湯ふろしット ・ワールのマスコット ・レジック製品 ・編み物 ・七宝瑠 などから選択	(知) 素材の特徴を理解し、製法や道具の安全な取り扱い方を身に付けることができる。 製作の手順を理解し作業を正確に行うことができる。 (思) 製作物のデザインや色の組み合わせを考え、自分なりに工夫しようとするすることができる。 作業中に発生する課題に気付く、解決方法を考えながら作業を進めることができる。 できあがった製品を評価し、次回の製作に向けた改善点を見出すことができる。 (学) ものづくりの楽しさや達成感を味わい、意欲的に作業に取り組むことができる。 自分の役割を理解し、友達と協力しながら製作活動を進めることができる。 様々な素材を使用した製品を製作することで、自分の得意な作業や作りたい製品を見付けようとする態度を養う。	グループ	21
	「文化祭に向けた取組」 ・店づくり ・製品の設楽 ・接客練習 など	(知) 商品の陳列や接客の基本的な方法を身に付けることができる。 接客時の基本的な言葉遣いやマナーを身に付け、適切に対応できる。 売り上げ記録や金銭管理の方法を理解し、正確に記録することができる。 (思) 店のレイアウトや商品の並べ方を工夫し、見やかり魅力的な店づくりを考えることができる。 販売活動を振り返り、良かった点や改善点を見出し、次に生かそうとする。 (学) 販売活動の意義を理解し、意欲的に取り組もうとする。 自分の役割を理解し、責任をもって活動することができる。 友達と協力して目標を達成し、達成感を共有することで自己肯定感を高めることができる。	グループ	22
	「専門性の高い製品作り(4)」 ・社会人講師による指導	(知) 専門性の高い製品作りの手順を理解し、丁寧に取り組むことができる。 新しい素材や道具の扱い方について理解することができる。 (思) 自分の役割を理解し、必要な道具を準備したり、作業のポイントを確認したりしながら取り組むことができる。 製作を通して素材の特性に気付く、質の良い製品に仕上がるように工夫することができる。 (学) 扱ったことのない素材や道具にも親しみをもち、試行錯誤しながら創造する喜びを味わう態度を養う。	グループ	14
「生徒の企画した製品の製作(3)」 ・製作するものの調査 (調べ学習、アンケートなど) ・製作に向けた準備 など	(知) 製品企画に必要な基礎的な調べ学習の方法(アンケートの作成、集約、情報収集など)を身に付けることができる。 製作の手順を理解し、正確に作業を行うことができる。 (思) アンケート結果を元に、製品の企画やデザインの工夫を考えることができる。 製作中に課題に気付く、解決方法を考えながら作業を進めることができる。 (学) 企画、製作、販売の一連の活動を通して、自分の役割を理解し、責任をもって取り組むことができる。 友達と協力しながら計画を進めることで、協調性やコミュニケーション力を養うことができる。	グループ	14	
「2学期のまとめ」 ・2学期のまとめや振り返り ・教室の整理整頓	(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする気持ちを養う。	グループ	3.5	
2 学期授業時数				142.5
3 学期	「給食配膳・清掃(9)」 ・給食時の配膳 ・教室等の清掃	(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、活動に見通しをもつことができる。 (思) 自分が取り組む活動を選択し、集団の中で自ら活動することができる。 (学) 仲間と協力し、効率を考えながら取り組む態度を養う。	学級	21
	「生徒の企画した製品の製作・販売(4)」 ・製作、販売	(知) 製品企画に必要な基礎的な調べ学習の方法(アンケートの作成、集約、情報収集など)を身に付けることができる。 製作の手順を理解し、正確に作業を行うことができる。 (思) アンケート結果を元に、製品の企画やデザインの工夫を考えることができる。 製作中に課題に気付く、解決方法を考えながら作業を進めることができる。 (学) 企画、製作、販売の一連の活動を通して、自分の役割を理解し、責任をもって取り組むことができる。 友達と協力しながら計画を進めることで、協調性やコミュニケーション力を養うことができる。	グループ	41
	「1年間の振り返り」 ・1年間の振り返りやまとめ ・教室等の整理整頓や掃除	(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする気持ちを養う。	グループ	4.5
3 学期授業時数				66.5
総授業時数				332.5

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書			
高等部 第3学年 単一Ⅱ類型	チャレンジタイム	①道徳「きみがいちばんひかるとき 3年」(光村図書出版)			
目標	<p>(知) 集団や職場での関わり方や社会的自立に向けて必要な知識や技能を習得することができる。</p> <p>(思) 集団や社会の中で自分ができることを考え、他者とともにより良く生きるための基盤となる道徳性やコミュニケーション力を養う。</p> <p>(学) 自分から進んで集団での活動に入り、主体的に取り組もうとする態度を養う。</p>				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
Ⅰ学期	「検定の取組(1)」 ・清掃検定 ・パソコン検定	①	(知) 社会的自立について理解し、継続して作業に取り組むことで工程を理解し、基本的な知識や技能を身に付ける。 (思) 作業効率や改善点を考えて、目標設定を自分で設けて、課題解決に取り組む力を養う。 (学) 自分から進んで集団での活動に取り組み、コミュニケーション能力や指示理解力を高めようとする態度を養う。	グループ	5.5
	「道徳(1)」 ・自然の尊さ		(知) 自然の尊さについて知ることができる。 (思) 自然とは何かを考えたり、身近な自然の大切さについて表現したりすることができる。 (学) 自然を大切にしようとする態度を養う。	学級	1
Ⅰ学期授業時数					6.5
Ⅱ学期	「検定の取組(2)」 ・清掃検定 ・パソコン検定	①	(知) 社会的自立について理解し、継続して作業に取り組むことで工程を理解し、基本的な知識や技能を身に付ける。 (思) 作業効率や改善点を考えて、目標設定を自分で設けて、課題解決に取り組む力を養う。 (学) 自分から進んで集団での活動に取り組み、コミュニケーション能力や指示理解力を高めようとする態度を養う。	グループ	6.5
	「サークル活動(1)」 ・音楽活動 ・軽スポーツ ・学級レク		(知) 各サークル活動において、活動の流れやルール、用具の使い方を理解することができる。 (思) 活動における改善点を考えたり、活動の嗜好や楽しさを感じたりする態度を養う。 (学) 仲間と協力して活動する態度や集団で活動する際のマナーや心構えを身に付けようとする態度を養う。	グループ	2.5
	「道徳(2)」 ・家庭生活の充実		(知) 自他の個性や立場を尊重しようとする態度を身に付ける。 (思) 家庭生活の中で自分ができることを模索し、他者とともに考えたり、協議したりして、協同する力を高める。 (学) 人との関わりの中で、集団活動に取り組み、コミュニケーション能力を高めようとする態度を養う。	学級	1
Ⅱ学期授業時数					7.5
Ⅲ学期	「サークル活動(2)」 ・音楽活動 ・軽スポーツ ・学級レク	①	(知) 各サークル活動において、活動の流れやルール・用具の使い方を理解することができる。 (思) 活動における改善点を考えたり、活動の嗜好や楽しさを感じたりする態度を養う。 (学) 仲間と協力して活動する態度や集団で活動する際のマナー、心構えを身に付けようとする態度を養う。	グループ	2.5
	「道徳(3)」 ・よりよく生きる ～社会生活に向けて～		(知) 生活や職業に対する関心を高め、将来の家庭生活や職業生活に関わる基礎的な知識を身に付ける。 (思) 将来の家庭生活や社会生活に必要な事柄を見だし、課題を解決する力を養う。 (学) より良い家庭生活や社会生活の実現に向けて、生活を工夫し、考えようとする態度を養う。	学級	1
Ⅲ学期授業時数					3.5
総授業時数					17.5

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書			
高等部 第3学年 単一Ⅱ類型	国語	①国語「国語☆☆☆☆」(東京書籍)			
目標	<p>(知) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる。</p> <p>(思) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。</p> <p>(学) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力の向上を図る態度を養う。</p>				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学期	「丁寧語や敬語について知ろう3」 ・丁寧語と尊敬語の分類をする。 ・会話などのプリント学習で、正しく書き換えたり、答える方法について知る。 ・状況によってどのように言ったらよいかを考える。	①	(知) 相手や目的に応じて、丁寧語や敬語を使用できるよう、その違いに注意して意識的に使い分けすることができる。 (思) 相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。 (学) 言葉のもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力を向上させようとする態度を培う。	学級	4
	「図書室の使い方を知ろう」【読書指導】 ・本の種類について知る。 ・図書館の利用方法について知る。	①	(知) 本は種類やカテゴリーがあることや図書館を利用するときの方法やマナーについて知ることができる。 (思) 図書館の利用方法について考え、本を探そうとしたり、実践したりすることができる。 (学) 読書に親しむことができる。	学級	2
	「体育祭の思い出を書こう3」 ・体育祭の思い出を作文等で表現し、作成した作文を発表する。	①	(知) 漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点の使い方を意識して打つことができる。 (思) 書く内容の中心を決め、内容のまとまりで段落をついたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。 (学) 言葉のもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力を向上させようとする態度を培う。	学級	4
	「読み取ってみよう」 ・説明書や手順書を読み取る。 ・説明書や手順書を作成する。	①	(知) 修飾と被修飾との関係や指示する語句の役割について理解することができる。 (思) 日常生活や社会生活、職業生活に必要な語句、文章、表示などを読み取り、行動しようとするすることができる。 (学) 言葉のもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力を向上させようとする態度を培う。	学級	3
1学期授業時数					13
2 学期	「詩に触れよう」 ・詩を読み情景を想像する。 ・工夫して音読する。 ・詩を書く。	①	(知) 詩の内容を意識して音読したり、内容をおおまかに捉えたりすることができる。 (思) 詩の内容から情景や登場人物の心情を想像したり、分かったことを伝えあったりすることができる。 (学) 言葉のもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力の向上を図る態度を養う。	学級	5
	「分かれて議論しよう」 ・身近な生活の中でテーマを考える。 ・賛成意見、反対意見を考える。 ・テーマに沿って分かれて議論する。	①	(知) 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報との関係について理解することができる。 (思) 目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。 (学) 言葉のもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力の向上を図る態度を養う。	学級	5
	「文や物語を読み取ろう」 ・教科書や本を音読し、おおよその内容をつかむ。	①	(知) 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くことができる。 (思) 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。 (学) 言葉のもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力の向上を図る態度を養う。	学級	5
2学期授業時数					15
3 学期	「書き初めをしよう」 ・毛筆の練習、書き初めをする	①	(知) 文字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことができる。 (思) 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。 (学) 言葉のもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力の向上を図る態度を養う。	学級	2
	「思い出の作文や手紙を書こう」 ・3年間の思い出を振り返り、活動したこと、思いを表現する。 ・相手や目的など感謝の気持ちを伝える書き方を知る。	①	(知) 漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点の使い方を意識して打つことができる。 (思) 相手や目的を意識して、書くことを決め、集めた材料を比較するなど、伝えたいことを明確にすること。 (学) 言葉のもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力の向上を図る態度を養う。	学級	5
3学期授業時数					7
総授業時数					35

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書			
高等部 第3学年 単一Ⅱ類型	社会	①社会「ひとりだちするための社会」(日本教育研究出版) ②地図「なんでもひける日本地図 新版」(成美堂出版)			
目標	<p>(知) 地域の様子や社会参加するための決まり、公共施設の役割と制度について理解することができる。</p> <p>(思) 社会的事象の特色や相互の関連を自分の生活と結び付け、社会との関わり方を選択したり、判断したりすることができる。</p> <p>(学) 社会に主体的に関わろうとしたり、学習したことを社会生活に生かそうとしたりする態度を養う。</p>				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学 期	「選挙について」【主権者教育】 ・選挙の種類や流れ ・模擬選挙 ・主権者としての行動(まとめ)	①	(知) 18歳で成人となり、選挙権が与えられることや選挙の流れ、投票の仕方について理解することができる。 (思) 立候補者の意見を聞き、自分で判断して模擬投票をしたり、主権者としてどう行動することができるかを考えたりすることができる。 (学) 社会の一員であるという気持ちや責任ある行動をしようとし、模擬選挙に興味関心を示し、進んで行おうとしたりする態度を養う。	学級	5
	「私たちの国土」 ・市町村の特徴 ・都道府県の特徴 ・地方の特徴	①②	(知) 地域や日本の国土の概要や特色について理解することができる。 (思) 地域や日本の国土の様子や特色を調べたり、考えたりしたことを表現することができる。 (学) 地域や日本の国土や自然を大切にしようとする態度を養う。		5
	「税金と社会保障」 ・税金の仕組み ・社会保障制度	①	(知) 税金の種類や使われ方について知ることができる。 (思) 身の回りの生活の中で税金によって自分が受けている保障について考え、表現することができる。 (学) 暮らしの中の権利と義務について知り、責任ある自分の行動について考えようとする態度を養う。		3
1 学期授業時数					13
2 学 期	「日本の歴史」 ・縄文時代から現代まで ・歴史上の人物 ・文化遺産	①②	(知) 歴史上の主な事象や主な人物、文化遺産などについて知ることができる。 (思) 世の中の様子や人物の動き、代表的な文化遺産などについて調べ、調べた内容や考えたことを表現することができる。 (学) 我が国の歴史や伝統を大切にしようとする態度を養う。	学級	6
	「日本国憲法について」 ・三つの基本原則	①	(知) 日本国憲法の基本三原則について知り、自分たちの生活と関わりがあることを理解することができる。 (思) 日本国憲法が自分たちの生活にどのように生かされているかについて調べて、表現することができる。 (学) 日本国憲法と自分たちの生活の関わりを理解し、決まりや法を順守して生活しようとする態度を養う。		1
	「政治の仕組み」 ・国会 ・内閣 ・裁判所 ・三権分立	①	(知) 国の政治の基本的な仕組みや働きについて理解することができる。 (思) 国や地方公共団体の政治の取組について調べ、国民生活における政治の働きを表現することができる。 (学) 政治と自分たちの生活のつながりに関心を持ち、社会に参加しようとする態度を養う。		5
	「公共施設の利用」 ・銀行や郵便局の働き ・通帳やカードの利用と管理	①	(知) 金融機関の仕組みや通帳の作り方について知ることができる。 (思) 通帳やカードの利用方法について理解し、管理の方法を考えて表現することができる。 (学) 通帳やカードの自己管理について考えようとする態度を養う。		3
2 学期授業時数					15
3 学 期	「防災について」 ・ハザードマップ ・防災グッズ	①	(知) 自然災害から生活を守るために、様々な対策や事業が進められていることを理解することができる。 (思) 自分の居住地域のハザードマップを調べたり、避難場所を確認したりして、マイタイムラインを作成することができる。 (学) ハザードマップや避難場所を調べたり、防災グッズを考えたりする活動を通して、防災の意識を高めようとする態度を養う。	学級	2
	「世界と日本のつながりについて」 ・世界の国々とのつながりや特徴 ・国際協力や環境保全 ・持続可能な社会へ向けてできること ・SDGs	①	(知) 世界と日本のつながりや地球規模で発生している環境問題、SDGsの概要について知ることができる。 (思) 持続可能な社会を実現するために、どのようなことが必要かについて考え、表現することができる。 (学) 環境保全やSDGsに取り組もうとする気持ちや、実際に行動しようとする態度を養う。		5
3 学期授業時数					7
総授業時数					35

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書			
高等部 第3学年 単一Ⅱ類型	数学	①数学「くらしに役立つ数学」(東洋館)			
目標	<p>(知) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解し、事象を数理的に処理する技能を身に付ける。</p> <p>(思) 日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。</p> <p>(学) 数学的活動の楽しさや数学の良さに気付き、学習を振り返ってより良く問題を解決しようとする態度、数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p>				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学 期	<p>「数と計算の学習をしよう(1)」</p> <p>○基本的な四則計算</p> <p>○4位(1万)までの整数の表し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4位数までの数の表し方を知ること ・数の大小や順序を理解すること ・十倍、百倍$1/10$の大きさの数及びその表し方を知ること <p>○整数の四則計算</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3位数の加法、減法、筆算 ・4位数の加法、減法、筆算 ・計算機を使用した計算 ・1位数の乗法 ・除数と商が1位数である除法の計算 ・余りの求め方が分かること 	①	<p>(知) 加法、減法、乗法及び除法の意味や性質について理解し、それらの計算ができるようになる。小数及び分数の意味や表し方について知り、数量とその関係を表したり、読み取ったりすることができる技能を身に付ける。</p> <p>(思) 数を構成する単位に着目して、数の表し方やその数について考えたり、扱う数の範囲を広げ、計算の仕方を見だし、筋道立てて考えたりするとともに、日常生活の場面を数量に着目して捉え、処理した結果を場面を基に振り返り、解釈及び判断する力を養う。</p> <p>(学) 数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに数学で学んだことの良さに気付き、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p>	学級	8
	<p>「図形の学習をしよう」</p> <p>(図形)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二等辺三角形や正三角形などについて知ること ・二等辺三角形や正三角形などを作ること ・直線の平行や垂直の関係について知ること ・円の中心、半径及び直径、球の直径を知ること ・前後、左右、上下などの方向や位置を理解すること(面積) ・cm m kmについて知ること ・正方形、長方形などの面積の求め方について知ること(角) ・角について知ること ・角の大きさを測ること 	①	<p>(知) 二等辺三角形や正三角形などの基本的な図形や面積、角の大きさについて理解し、図形についての感覚を豊かにするとともに、図形を作図や構成したり、図形の面積や角の大きさを求めたりすることなどについての技能を身に付けるようにする。</p> <p>(思) 二等辺三角形や正三角形などの基本的な図形を構成する要素に着目して、平面図形の特徴を捉えたり、身の回りの事象を図形の性質から考察したりする力、図形を構成する要素に着目し、図形の計量について考察する力を養う。</p> <p>(学) 図形や数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことの良さを理解し、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p>	学級	5
1学期授業時数					13
2 学 期	<p>「数と計算の学習をしよう(2)」</p> <p>○基本的な四則計算</p> <p>○小数と分数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小数、分数について知ること ・$1/10$の1の位までの小数表し方について理解すること ・$1/2$、$1/4$などの簡単な分数について知ること <p>○金銭</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金種を理解すること ・計算機を使用した計算(釣銭、消費税など) ・両替 ・金銭の支払い方を知ること ・簡単な買物学習を通して金銭を取り扱うこと 	①	<p>(知) 整数の概念や性質について理解を深め、数に対する感覚を豊かにするとともに、加法、減法、乗法及び除法の意味や性質について理解し、それらの計算ができるようになる。また、小数及び分数の意味や表し方について知り、数量とその関係を表したり読み取ったりすることができるようにする。</p> <p>(思) 数を構成する単位に着目して、数の表し方やその数について考えたり、扱う数の範囲を広げ、計算の仕方を見だし、筋道立てて考えたりするとともに、日常生活の問題場面を数量に着目して捉え、処理した結果を場面をもとに振り返り、解釈及び判断する力を養う。</p> <p>(学) 数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさに気付き、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p>	学級	8
	<p>「変化の関係を学習しよう」</p> <p>(変化と関係)</p> <p>○変化の様子を表や式を用いて表したり、変化の特徴を読み取ったりすること</p> <p>○二つの数量の関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二つの数量の関係と別の関係とを比べる場合に割合を用いる場合があることを知ること <p>○時計、暦</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時刻の読み方を理解すること ・時間、分を理解すること ・朝、昼、晩、昨日、今日、明日などを理解すること ・カレンダー 	①	<p>(知) 二つの数量の関係や変化の様子を表や式で表すことについて理解するとともに、二つの数量の関係を割合によって比べることについての技能を身に付けるようにする。</p> <p>(思) 伴って変わる二つの数量の関係に着目し、変化の特徴に気付き、二つの数量の関係を表や式を用いて考察しに気付き、二つの数量の関係を表や式を用いて考察したり、割合を用いて考察したりする力を養う。</p> <p>(学) 数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさを理解し、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p>	学級	7
2学期授業時数					15
3 学 期	<p>「数と計算の学習をしよう(3)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小数と分数について知ること ・小数と分数の四則計算 	①	<p>(知) 小数及び分数の意味や表し方について知り、数量とその関係を表したり読み取ったりする技能を身に付ける。</p> <p>(思) 数を構成する単位に着目して、数の表し方やその数について考えたり、扱う数の範囲を広げ、計算の仕方を見だし、筋道を立てて考えたりするとともに、日常生活の問題場面を数量に着目して捉え、処理した結果を場面をもとに振り返り、解釈及び判断する力を養う。</p> <p>(学) 数量について数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことの良さを理解し、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p>	学級	3
	<p>「データを活用しよう」</p> <p>○表やグラフ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天気、気温など身の回りの事象を分類したり、整理したりすること ・データを表やグラフに表したり、読みとったりすること 	①	<p>(知) データを表や棒グラフ、折れ線グラフで表す表し方や読み取り方を理解し、それらを問題解決における用い方についての技能を身に付けるようにする。</p> <p>(思) 身の回りの事象について整理されたデータの特徴に着目し、事象を簡潔に表現したり、適切に判断したりする力を養う。</p> <p>(学) データの活用に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさを理解し、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p>	学級	4
3学期授業時数					7
総授業時数					35

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第3学年 単一Ⅱ類型		音楽	① 音楽「音楽☆☆☆☆」(文部科学省)		
目標	<p>(知) 曲名や曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくり、身体表現の技能を身に付けるようにする。</p> <p>(思) 音楽表現を考えて表したい思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさを見い出しながら、音や音楽を味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(学) 主体的に楽しく音や音楽に関わり、協働して音楽活動を楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしよとする態度を養う。</p>				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学 期	「みんなで歌おう」 ・歌詞やメロディーを覚えて学年のテーマ曲を歌う活動。	①	(知) 歌唱の活動を通して、曲名や曲想と音楽の構造との関わりや曲想と歌詞の表す情景やイメージとの関わりに気付いたり、思いや意図にふさわしい歌い方で歌うために必要な技能を身に付けたりすることができる。	類型 学級	2
	「季節の歌を歌おう(春・夏)」 ・春、夏を感じることができる曲を歌う活動。		(知) 器楽の活動を通して、曲想と音楽の構造との関わりや多様な楽器の音色と全体の響きとの関わりに気付いたり、思いや意図にふさわしい歌い方で歌うために必要な技能を身に付けたりすることができる。		2
	「リズムを楽しもう」 ・いろいろなリズムを覚え、音楽に合わせて表現する活動。		(知) 音楽づくりの活動を通して、いろいろな音の響きやその組み合わせの特徴やリズム・パターンや短い旋律のつなげ方の特徴に気付いたり、思いや意図にふさわしい歌い方で歌うために必要な技能を身に付けたりすることができる。		3
	「いろいろな楽器で楽しもう」 ・音楽に合わせて、楽器を演奏する。		(知) 身体表現活動を通して、曲想と音楽の構造との関わりや曲名や歌詞と体の動きとの関わりに気付いたり、思いや意図にふさわしい歌い方で歌うために必要な技能を身に付けたりすることができる。		4
	「鑑賞(1)」 ・名曲を鑑賞する活動。		(知) 鑑賞の活動を通して、曲や演奏のよさなどを見出し、曲全体を味わって聴いたり、曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて理解したりすることができる。		2
1 学期授業時数					13
2 学 期	「季節の歌を歌おう(秋・冬)」 ・秋・冬を感じることができる曲を歌う活動。 ・クリスマスソングを歌う活動。	①	(思) 歌唱の活動を通して、歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、歌唱表現に対する思いや意図をもつことができる。	類型 学級	4
	「アンサンブルをしよう」 ・いろんな楽器を使って合奏する		(思) 器楽の活動を通して、器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲想にふさわしい表現を工夫し、器楽表現に対する思いや意図をもつことができる。		9
	「鑑賞(2)」 ・名曲を鑑賞する。		(思) 音楽づくりの活動を通して、音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得ることや、音を音楽へと構成することについて、思いや意図をもつことができる。		2
2 学期授業時数					15
3 学 期	「合唱に取り組もう」 ・卒業証書授与式で歌う歌を心を込めて歌う。	①	(思) 身体表現の活動を通して、身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、リズムの特徴や曲想を感じ取り、体を動かすことについての思いや意図をもつことができる。	類型 学級	3
	「まとめをしよう」 ・1年間を振り返り、歌ったり演奏したりする活動。		(思) 鑑賞の活動を通して、鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見い出して聴いたり、曲想と音楽の構造等との関わりについて分かること。		4
3 学期授業時数					7
総授業時数					35

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書			
高等部 第3学年 単一Ⅱ類型	美術	①美術「小学館の図鑑NEOアート 図解はじめての絵画」(小学館)			
目標	<p>(知) 造形的な視点について理解し、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。</p> <p>(思) 造形的な良さや美しさ、表現の意図と工夫について考え、主題を生み出し豊かに発想して構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができる。</p> <p>(学) 楽しく美術の活動を行い、創造活動の喜びを味わったり、美術を愛好する心情を培ったりして、心豊かな生活を創造していこうとする態度を養う。</p>				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学 期	「工芸～タイルを使った小物作り～」 ○木材とタイルを用いた小物作り ・デザインやテーマの検討 ・木材磨き ・下準備 ・タイルを用いた表現 ・目地塗り ・仕上げ ・作品の展示・鑑賞	①	<p>(知) タイルを貼る接着剤や目地の量を調整しながら小物を制作することができる。</p> <p>(思) 自分が作りたいものをイメージして、アイデアスケッチをし、タイルの色を選んだり、貼る位置を調整したりしながら、土台にタイルを置くことができる。</p> <p>(学) 制作工程を理解し、自発的に活動しながら創作する喜びを味わったり、美術を愛好したりしようとする態度を養う。</p>	学級	10
	「版画の制作(1)」 ○コラグラフ版画の技法を用いた制作 ・デザインやテーマの検討 ・使用する素材の検討 ・デザイン画を基にした制作 ・作品の展示・鑑賞	①	<p>(知) 素材による模様の違いや刷り方を理解して、版画を制作することができる。</p> <p>(思) 表現したいことをアイデアスケッチにまとめ、仕上がりの模様をイメージしながら使いたい素材を選んで制作することができる。</p> <p>(学) 制作工程を理解し、自発的に活動しながら創作する喜びを味わったり、美術を愛好したりしようとする態度を養う。</p>		3
1 学期授業時数					13
2 学 期	「版画の制作(2)」 ○コラグラフ版画の技法を用いた制作 ・デザインやテーマの検討 ・使用する素材の検討 ・デザイン画を基にした制作 ・作品の展示・鑑賞	①	<p>(知) 素材による模様の違いや刷り方を理解して、版画を制作することができる。</p> <p>(思) 表現したいことをアイデアスケッチにまとめ、仕上がりの模様をイメージしながら使いたい素材を選んで制作することができる。</p> <p>(学) 制作工程を理解し、自発的に活動しながら創作する喜びを味わったり、美術を愛好したりしようとする態度を養う。</p>	学級	4
	「卒業記念作品の制作」 ○時計の制作 ・デザインの検討 ・紙粘土などを用いた飾りの制作 ・土台の制作 ・時計針や電池パックの取り付け ・作品の展示・鑑賞	①	<p>(知) 粘土の性質を理解し、用途に合わせて選択した道具を扱って、粘土を形成することができる。</p> <p>(思) 完成をイメージしながらデザイン画を描き、表現することができる。</p> <p>(学) 作品作りに自発的に取り組み、創造する喜びを味わったり、美術を愛好したりしようとする態度を養う。</p>		11
2 学期授業時数					15
3 学 期	「卒業証書授与式を花で飾ろう」 ○卒業証書授与式に向け、教室や廊下等を装飾する作品の制作 ・デザイン画を基にした表現 ・作品の展示・鑑賞	①	<p>(知) 自分が担当する部分を理解し、紙をちぎって貼ったり、絵などを描いたりして表現することができる。</p> <p>(思) 学級で意見を出し、デザインや分担する場所を考えることができる。</p> <p>(学) これまでの思い出を思い起こしたり、最後まで協力したりして制作しようとする態度を養う。</p>	学級	7
3 学期授業時数					7
総授業時数					35

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書			
高等部 第3学年 単一I類型	保健体育	①保健体育「ドキドキワクワク性教育(2)大切なからだ・こころ」(少年写真新聞社)			
目標	<p>(知) 各種の運動の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能等や心身の発育・発達、個人生活に必要な健康・安全に関する事柄などを理解するとともに、技能を身に付ける。</p> <p>(思) 各種の運動や健康の自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、友達と考えたりしたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>(学) 各種の運動における多様な経験を通して、決まりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全の確保をしたり、自己の最善を尽くして、自主的に運動しようとする態度を養う。</p>				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学 期	「体づくり運動(1)」 ・体操 ・ストレッチ ・ランニング ・筋力トレーニングなど		(知) 体ほぐしの運動、体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地良さを味わい、その行い方や方法を理解するとともに、仲間と積極的に関わったり、動きを継続する能力などを高める運動をしたりすることができる。 (思) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動について自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、決まりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりして、自主的に運動しようとする態度を養う。	類型 学級	25
	「体育祭の取組」 ・集合、整列 ・種目練習 ・全体練習		(知) 集団として必要な行動の仕方を身に付け、全体に合わせて正確に行動することができる。 (思) 種目練習で、道具の操作を自分で工夫したり、考えたりすることができる。 (学) 友達と協力して種目などの練習に取り組もうとする態度を養う。	学年 類型	8
	「新体力テスト」 ・握力 ・上体起こし ・長座体前屈 ・50m走 ・20mシャトルラン ・反復横跳び ・立ち幅跳び ・ハンドボール投げ		(知) 自己の体力や状態を把握し、課題を見付けることができる。 (思) 体力テストの結果を基に自分の体力の状態を判断し、改善のための目標を設定することができる。 (学) 体力テストに主体的に取り組もうとする態度を養う。	類型	3
	「水泳(1)」 ・アクアビクス ・蹴伸び ・クロール ・平泳ぎ ・背泳ぎ など		(知) 水泳の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに泳法を身に付けることができる。 (思) 水泳についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学) 水泳の多様な経験を通して、決まりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動しようとする態度を養う。		3
1学期授業時数					39
2 学 期	「体づくり運動(2)」 ・体操 ・ストレッチ ・ランニング ・筋力トレーニングなど		(知) 体ほぐしの運動、体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地良さを味わい、その行い方や方法を理解するとともに、仲間と積極的に関わったり、動きを継続する能力などを高める運動をしたりすることができる。 (思) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動について自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、決まりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりして、自主的に運動しようとする態度を養う。	類型 学級	30
	「水泳(2)」 ・アクアビクス ・蹴伸び ・クロール ・平泳ぎ ・背泳ぎ など		(知) 水泳の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに泳法を身に付けることができる。 (思) 水泳についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学) 水泳の多様な経験を通して、決まりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動しようとする態度を養う。		4
	「球技」 ・ゴール型 ・ネット型 ・ベースボール型		(知) 球技の特性に応じた技能を理解して身に付け、道具などを正確に扱いながら、簡易化されたゲームを行うことができる。 (思) 球技における自他の課題を発見したり、解決のための方策を工夫したり、友達と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学) 球技の多様な経験を通して、決まりやルール、マナーなどを守り、自主的に運動しようとする態度を養う。	類型	8
	「保健」 ・病気になるたとき ・性の学習	①	(知) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付ける。 (思) 健康・安全に関わる自他の課題を発見し、解決のための方策を工夫したり、友達と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学) 健康・安全に留意し、健康の保持増進と回復に積極的に取り組もうとする態度を養う。		3
2学期授業時数					45
3 学 期	「体づくり運動(3)」 ・体操 ・ストレッチ ・ランニング ・筋力トレーニングなど		(知) 体ほぐしの運動、体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地良さを味わい、その行い方や方法を理解するとともに、仲間と積極的に関わったり、動きを継続する能力などを高める運動をしたりすることができる。 (思) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動について自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、決まりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりして、自主的に運動しようとする態度を養う。	類型 学級	13
	「陸上運動」 ・長距離走 ・短距離走 ・ハードル走 ・リレー ・投てき		(知) 陸上競技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに、技能を身に付ける。 (思) 陸上競技に関する自他の課題を発見し、解決のための方策を工夫したり、友達と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学) 陸上競技の多様な経験を通して、決まりやルール、マナーなどを守り、自主的に運動する態度を養う。	類型	4
	「ニュースポーツ」 ・グラウンドゴルフ ・フライングディスク ・ポッチャ		(知) 友達と協力し、場や用具の安全面に気を付けて、生涯にわたってできる種目に取り組むことができる。 (思) ニュースポーツにおける自他の課題を発見し、解決のための方策を工夫したり、友達と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学) ニュースポーツの多様な経験を通して、決まりやルール、マナーなどを守り、自主的に運動しようとする態度を養う。	類型	4
	3学期授業時数				
総授業時数					105

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書			
高等部 第3学年 単一Ⅱ類型	職業	①「ひとりだちするための進路学習」(日本教育研究出版社)			
目標	<p>(知) 職業に関する事柄について理解するとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付ける。</p> <p>(思) 将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価し、表現する力を養う。</p> <p>(学) より良い将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を養う。</p>				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学期	「オリエンテーション」 ・1年間の学習の予定 ・面談に向けて(職業相談)	①	(知) 職業科の一年間の学習予定(職業相談)について知り、活動に見通しをもつことができる。 (思) 将来の職業生活について、考えることができる。 (学) より良い将来の職業生活の実現に向けて、取組を行おうとする態度を養う。	学級	2
	「職場実習事前学習」 ・実習への心構え ・目標設定 ・実習先での決まりやマナー ・態度と身だしなみ ・(帰宅連絡の仕方)	①	(知) 職場実習における基本的な態度や服装、仕事内容を理解することができる。 (思) 実習に向けて意欲や見通しをもち、昨年度の実習の成果と課題を基に目標を考えることができる。 (学) 勤労に対する意欲や関心を高め、取り組もうとする態度を養う。	類型 学級	5
	「ビジネスマナー(1)」 ・面接の基本 ・メモの取り方 ・職場における基本的なコミュニケーション	①	(知) 基本的な面接のマナーとメモの取り方について知ることができる。 (思) 職場での適切なコミュニケーションの取り方を他者と協働しながら考えることができる。 (学) 職場での基本的な言葉を遣うロールプレイングを行うことで実践的な力を養う。	類型 学級	6
Ⅰ学期授業時数					13
Ⅱ 学期	「職場実習 事前・事後学習」 ・実習への心構え・面接指導 ・目標設定 ・実習先での決まりやマナー ・態度と身だしなみ ・(帰宅連絡の仕方) ・実習の振り返り	①	(知) 職場実習における基本的な態度や服装、仕事内容を理解することができる。 (思) 実習に向けて意欲や見通しをもち、昨年度または1回目の実習の成果と課題を基に目標を考えることができる。 (学) 勤労に対する意欲や関心を高め、取り組もうとする態度を養う。	類型 学級	5
	「ビジネスマナー(2)」 ・通勤時に気をつけること ・職場での過ごし方 ・職場における基本的なコミュニケーション	①	(知) 通勤時に気をつけることや職場での適切な過ごし方について知ることができる。 (思) 職場での適切なコミュニケーションの取り方を他者と協働しながら考えることができる。 (学) 職場での基本的な言葉を遣うロールプレイングを行うことで実践的な力を養う。	類型 学級	6
	「いろいろな楽しみを見付けよう」 ・事前学習 ・交流・スポーツ体験 ・事後学習		(知) 心身障害者スポーツセンターのいろいろな活動について知ることができる。 (思) 交流やスポーツ体験を通して、楽しさや心地良さを感じることで余暇の楽しみ方について考えることができる。 (学) 卒業後の生活に向けて、より良い生活を改善しようとする実践的な態度を養う。	類型	4
Ⅱ学期授業時数					15
	「コミュニケーションスキルの学習」 ・遅刻や欠席をするときの連絡 ・報告、連絡、相談 ・人と話す時の態度	①	(知) 遅刻や欠席をするときの連絡方法や職場での適切なコミュニケーションについて知ることができる。 (思) 社会人として適切な言葉遣い、態度などを他者と共同しながら考えることができる。 (学) 社会生活に応じたロールプレイングを行うことで、実践的な態度を養う。	類型 学級	4
	「進路報告会」		(知) 友達の報告を聞き、実習内容や頑張りを知ることができる。 (思) 実習を振り返り、今後の学校生活の目標を考えることができる。 (学) 実習で、できたことやアドバイスを受けたことを評価し合い、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。	類型 学級	1
	「1年間のまとめ」 ・3年生の振り返り ・卒業後の進路について ・卒業後の支援機関等	①	(知) 卒業後の生活の場に関して、特徴などを理解することができる。 (思) 自分の将来の生活についてイメージし、考えることができる。 (学) 将来の生活に必要な課題に取り組もうとする態度を養う。	学級	2
Ⅲ学期授業時数					7
総授業時数					35

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書			
高等部 第3学年 単一Ⅱ類型	家庭	①家庭「職業・家庭たのしい家庭科 わたしのくらしに生かす」（開隆堂出版）			
目標	<p>(知) 家族や自分の役割について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付ける。</p> <p>(思) 家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。</p> <p>(学) 家族や地域の人々との関わりを通して、より良い生活の実現に向けて、生活を工夫し、考えようとする実践的な態度を養う。</p>				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学 期	「オリエンテーション」 ・1年間の学習内容について	①	(知) 家庭の1年間の学習予定について知り、活動に見通しをもつ。 (思) 将来の家庭生活について、考えようとする力を養う。 (学) 学んだことを生かし、家庭生活に取り入れる態度を養う。	類型 学級	1
	「衣服をきれいにしよう」 ・衣服の保管 ・季節、場に応じた服装選び ・洗濯の方法	①	(知) 衣服の素材や状態に応じた日常着の手入れ方法、並びに季節、場に応じた服装選びなどについて知る。 (思) 日常着の手入れをより良く仕上げるための工夫について気付いたり、考えたり、表現したりすることができる。 (学) 日常着の手入れ方法や服の役割を理解し、主体的に実践しようとする態度を養う。	類型 学級	5
	「食事の計画をたてよう」 ・1日分の栄養を意識した昼食の検討 ・調理実習 ・材料に適した加熱調理の仕方	①	(知) 1日分の栄養を意識して1食分の献立をたて、材料に適した加熱調理の仕方を知る。 (思) 栄養素の働きを踏まえて、1日分の食事がバランスよくなるかを考える力を養う。 (学) 家庭においても、食事の計画を日常生活に、取り入れようとする態度を養う。	類型 学級	7
1学期授業時数					13
2 学 期	「安全で安心な買い物をしよう」 ・消費者の基本的な権利と責任 ・クーリングオフ制度 ・消費者トラブル	①	(知) 自分が消費者であることを理解し、安全・安心な買い物をするために、必要な権利、責任や簡単なトラブルへの対処法について知る。 (思) お金の使い方について自分自身を振り返り、考えることができる。 (学) 学んだことを日常生活においても、実践しようとする態度を養う。	類型 学級	3
	「パーティーを計画しよう」 ・パーティーを計画して実行する	①	(知) 自分たちでパーティーを計画・実施するために、必要な食生活・調理・衛生・マナーなどについて知る。 (思) 目的や相手に合わせて、どんなパーティーをしたいかを考えることができる。 (学) 自分の役割に責任をもって取り組もうとする態度を養う。	類型 学級	7
	「卒業制作をしよう」 ・タペストリーの制作	①	(知) 被服の製作に関わる技術を身に付ける。 (思) 良い製品を製作するための課題や工夫について考えたり、表現したりすることができる。 (学) 製作工程を理解し、主体的に取り組もうとする態度を養う。	類型 学級	5
2学期授業時数					15
3 学 期	「住まいや暮らし方を考えよう」 ・大掃除 ・物品の整理整頓	①	(知) 清掃の基礎的な技術を身に付ける。 (思) 普段の清掃で行わない、細かいところの清掃について考えたり、汚れを見付けたりすることができる。 (学) 学んだ知識を生かし、生活に取り入れようとする態度を養う。	類型 学級	3
	「自分の将来を考えよう」 ・キャリアマップの作成	①	(知) 自分のこれまでの学校生活や学習を振り返りながら、自分の夢や目標について知る。 (思) 卒業に向けて、自分の将来に希望をもち、自分の思いや目標を自分なりの方法で他者に伝えることができる。 (学) 将来について、自分ごととして考えようとする態度を養う。	類型 学級	3
	「1年間の学習を振り返ろう」 ・学習したことを実生活に生かした具体例の発表 ・改善したい生活習慣についての考察	①	(知) 1年間の学習で身に付いた家庭生活の知識を確認する。 (思) 将来の家庭生活について、考えようとする力を養う。 (学) 学んだことを生かし、家庭生活に取り入れる態度を養う。	類型 学級	1
3学期授業時数					7
総授業時数					35

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書		
高等部 第3学年 単一Ⅱ類型	特別活動			
目標	<p>(知) より良い学校生活を築くために、お互いに理解し合った行動を身に付けることができる。</p> <p>(思) 集団行動や活動ができるよう、自分たちで計画して実行する力を付けることができる。</p> <p>(学) 学校生活での活動が円滑に進むように実践的な態度を養う。</p>			
期	単元名・指導内容	単元目標	授業形態	時数
1 学期	「学級組織作り(1)」 ・学級組織作り ・係分担 ・1学期の目標決め	(知) 1学期の取組内容と学級や学校生活の充実に向けて、自分の目標や学級での役割について知ることができる。 (思) 学級や学校生活をスムーズに行うために、話し合いで自分の意見を表現したり、友達の意見を聞いたりしながら課題解決に向けて取り組むことができる。 (学) 学級や学校生活における人間関係をより良く形成し、友達と協働しながら取り組もうとする態度を養う。	学級	2
	「ホームルームでの取組(1)」 ・学級活動、類型活動の計画 ・学級活動、類型活動の実施	(知) 学級における諸問題について、友達と協働して解決する大切さを理解し、解決方法を知ることができる。 (思) 学級における諸問題について、話し合いで自分の意見を表現したり、友達の意見を聞いたりしながら解決に向けて取り組むことができる。 (学) 学級における人間関係をより良く形成し、友達と協働しながら取り組もうとする態度を養う。	類型 学級	9
	「学部集会(1)」 ・新入生歓迎会	(知) 集団の中での自分の役割の実現に向けて取り組む意義を理解することができる。 (思) 自分の役割に向けた課題を見出し、課題解決に向けての取組について考えることができる。 (学) 友達と協働しながら学校生活の充実のために参画しようとする態度を養う。	学部 学級	1
	「1学期の振り返りと夏休みの生活」 ・1学期の振り返り ・夏休みの生活について ・宿題の確認	(知) 集団の中での自分の役割の実現に向けて取り組む意義を理解することができる。 (思) 自分の役割に向けた課題を見出し、課題解決に向けての取組について考えることができる。 (学) 自分の現在の生活や学習への取組について振り返り、自立へ向けて自己実現を図ろうとする態度を養う。	学級	1
1学期授業時数				13
2 学期	「学級組織作り(2)」 ・学級組織作り ・係分担 ・2学期の目標決め	(知) 2学期の取組内容と学級や学校生活の充実に向けて、自分の目標や学級での役割について知ることができる。 (思) 学級や学校生活をスムーズに行うために、話し合いで自分の意見を表現したり、友達の意見を聞いたりしながら課題解決に向けて取り組むことができる。 (学) 学級や学校生活における人間関係をより良く形成し、友達と協働しながら取り組もうとする態度を養う。	学級	2
	「ホームルームでの取組(2)」 ・学級活動、類型活動の計画 ・学級活動、類型活動の実施	(知) 学級における諸問題について、友達と協働して解決する大切さを理解し、解決方法を知ることができる。 (思) 学級における諸問題について、話し合いで自分の意見を表現したり、友達の意見を聞いたりしながら解決に向けて取り組むことができる。 (学) 学級における人間関係をより良く形成し、友達と協働しながら取り組もうとする態度を養う。	類型 学級	10
	「文化祭の取組」 ・文化祭活動や当日の計画	(知) 活動の内容や活動の計画を理解することができる。 (思) 活動における改善点を考えたり、活動の嗜好や楽しさを感じたりする態度を養う。 (学) 友達と協力して活動する態度、集団での活動する際のマナーや心構えを身に付ける。	学級	2
	「2学期の振り返りと冬休みの生活」 ・2学期の振り返り ・冬休みの生活について ・宿題の確認	(知) 集団の中での自分の役割の実現に向けて取り組む意義を理解することができる。 (思) 自分の役割に向けた課題を見出し、課題解決に向けての取組について考えることができる。 (学) 自分の現在の生活や学習への取組について振り返り、自立へ向けて自己実現を図ろうとする態度を養う。	学級	1
2学期授業時数				15
3 学期	「学級組織作り(3)」 ・学級組織作り ・係分担 ・3学期の目標決め ・一年間の振り返り	(知) 3学期の取組内容と学級や学校生活の充実に向けて、自分の目標や学級での役割について知ることができる。 (思) 学級や学校生活をスムーズに行うために、話し合いで自分の意見を表現したり、友達の意見を聞いたりしながら課題解決に向けて取り組むことができる。 (学) 学級や学校生活における人間関係をより良く形成し、友達と協働しながら取り組もうとする態度を養う。	学級	2
	「生徒会選挙の取組」 ・立候補者演説 ・投票の仕方を知る ・投票 ・委任状渡し	(知) 学校生活の充実ため、生徒会の組織作りを行う生徒会選挙の目的を理解し、選挙の投票の仕方を理解することができる。 (思) 生徒会選挙の目的を理解し、立候補者の意見を聞きながら自分で判断して投票することができる。 (学) 友達と協働しながら学校生活の充実のために参画しようとする態度を養う。	学部 学級	2
	「ホームルームでの取組(3)」 ・学級活動、類型活動の計画 ・学級活動、類型活動の実施	(知) 学級における諸問題について、友達と協働して解決する大切さを理解し、解決方法を知ることができる。 (思) 学級における諸問題について、話し合いで自分の意見を表現したり、友達の意見を聞いたりしながら解決に向けて取り組むことができる。 (学) 学級における人間関係をより良く形成し、友達と協働しながら取り組もうとする態度を養う。	類型 学級	2
	「学部集会(2)」 ・3年生を送る会	(知) 集団の中での自分の役割の実現に向けて取り組む意義を理解することができる。 (思) 自分の役割に向けた課題を見出し、課題解決に向けての取組について考えることができる。 (学) 友達と協働しながら学校生活の充実のために参画しようとする態度を養う。	学部 学級	1
3学期授業時数				7
総授業時数				35

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書		
高等部 第3学年 単一Ⅱ類型	自立活動			
目標	<p>(知) 自分の課題を改善、克服し、社会参加をするための知識や技能を身に付けることができる。</p> <p>(思) 自己評価や相互評価を行いながら自分の課題を見つめ、支援を求めたり、仲間と協力したりして課題を解決しようとする事ができる。</p> <p>(学) 卒業後の社会的自立の実現に向け、自分の良さや課題について振り返り、周囲の人と協働しながら改善したり努力したりする気持ちを養う。</p>			
期	単元名・指導内容	単元目標	授業形態	時数
1 学 期	「個別課題(1)」 ・朝学習	(知) 自立と社会参加をするために必要な知識や技能の中で、自分の課題となるものに取り組むことができる。 (思) 自分の課題を解決するために自ら工夫したり、支援を求めたり、仲間と協力したりすることができる。 (学) 自分の課題に対する取組を振り返り、良さや改善点を確認し、次に生かそうとする気持ちを養う。	類型 学級 個別	8
	「運動を習慣化しよう(1)」 【1健康の保持(5)】 【5身体の動き(1)】 ・体幹トレーニング ・リラックス運動 ・ランニング ・ラジオ体操第1、第2、ヨガ、ストレッチ	(知) 日常生活や就労に必要な動作の基本となる姿勢保持、体幹を鍛える基本的技能を身に付けることや、体力を付けることができる。 (思) 日常生活における適切な健康の自己管理を行うことができる。 (学) 自分の姿勢保持や運動・動作における課題を理解し、自ら対応できる力を養う。		6
	「仲間と気持ち良く過ごすために」 【2心理的な安定(1)】 ・気持ちを伝える言葉、リラクゼーション ・気持ちの切り替え、ミニゲーム、トークンゲーム など	(知) 気持ちを表現する言葉や自分の気持ちを落ち着けられる方法を理解することができる。 (思) 気持ちを表現する言葉や自分が落ち着ける方法を活用し、仲間とともに安心して過ごすことができる。 (学) 自分の状況を理解し、自ら対応できる力を養う。		6
	「作業学習に必要な動作を身に付けよう」 【5身体の動き(5)】 ・目と手の協応動作、手足の協調運動 ・ビジョントレーニング ・コグトレ	(知) 作業を進めるにあたって必要な手指の巧緻性や持続性を高めることができる。 (思) 自分の課題を知り、改善を図るために最後まで取り組むことができる。 (学) 自分の良さや課題について知り、改善をしたり努力したりする気持ちを養う。		6
1学期授業時数				26
2 学 期	「個別課題(2)」 ・朝学習	(知) 自立と社会参加をするために必要な知識や技能の中で、自分の課題となるものに取り組むことができる。 (思) 自分の課題を解決するために自ら工夫したり、支援を求めたり、仲間と協力したりすることができる。 (学) 自分の課題に対する取組を振り返り、良さや改善点を確認し、次に生かそうとする気持ちを養う。	類型 学級 個別	12
	「正しい言葉を知り、活用しよう(1)」 【6コミュニケーション(3)】 ・アイスブレイク ・他己紹介ゲーム ・質問・報告の仕方 ・電話の掛け方・取り方	(知) 言葉の意味や正しい文章を知り、自己の行動等に対応した言語の概念の形成を図ることができる。 (思) 言葉の意味を正しく理解し、コミュニケーションを取る中で、適切に使うことができる。 (学) 相手とのやり取りを円滑に行い、積極的にコミュニケーションを取ろうとする態度を養う。		6
	「運動を習慣化しよう(2)」 【1健康の保持(5)】 【5身体の動き(1)】 ・体幹トレーニング ・リラックス運動 ・ランニング ・ラジオ体操第1、第2、ヨガ、ストレッチ	(知) 日常生活や就労に必要な動作の基本となる姿勢保持、体幹を鍛える基本的技能を身に付けることや、体力を付けることができる。 (思) 日常生活における適切な健康の自己管理を行うことができる。 (学) 自分の姿勢保持や運動・動作における課題を理解し、自ら対応できる力を養う。		6
	「自分をコントロールしよう」 【3人間関係の形成(3)】 ・アンガーマネジメント	(知) 自分の気持ちを視覚化し、集団の中で状況に応じた行動をすることができる。 (思) 学習を通して自己状態を分析したり、行動を調整したりすることができる。 (学) 自分の状態を理解し、自ら対応できる力を養う。		6
2学期授業時数				30
3 学 期	「個別課題(3)」 ・朝学習	(知) 自立と社会参加をするために必要な知識や技能の中で、自分の課題となるものに取り組むことができる。 (思) 自分の課題を解決するために自ら工夫したり、支援を求めたり、仲間と協力したりすることができる。 (学) 自分の課題に対する取組を振り返り、良さや改善点を確認し、次に生かそうとする気持ちを養う。	類型 学級 個別	2
	「スケジュール管理をしよう」 【4環境の把握(3)】 ・スケジュールの確認 ・メモの取り方	(知) 自分のスケジュールを把握し、今後の行動に見通しをもつことができる。 (思) 自分の行動を視覚的に把握し、行動を調整することができる。 (学) 自分の状況を理解し、自分から対応しようとする態度を養う。		6
	「正しい言葉を知り、活用しよう(2)」 【6コミュニケーション(3)】 ・言葉集め、説明しりとり等のミニゲーム ・コミュニケーションスキル、すごろく ・ペア活動	(知) 言葉の意味、正しい文章を知り、自己の行動等に対応した言語の概念の形成を図ることができる。 (思) 言葉の意味を正しく理解し、コミュニケーションを取る中で適切に使うことができる。 (学) 相手とのやり取りを円滑に行い、積極的にコミュニケーションを取ろうとする気持ちを養う。		6
3学期授業時数				14
総授業時数				70

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書		
高等部 第3学年 単一Ⅱ類型	総合的な探究の時間			
目標	<p>(知) 実生活と自己の関わりから課題を見付けたり、課題を解決したりすることの大切さを知る。</p> <p>(思) 課題を解決していくために必要な情報を集め、整理して表現することができる。</p> <p>(学) 課題の解決に向けて主体的かつ協働的に取り組み、より良い社会を実現しようとする態度を養う。</p>			
期	単元名・指導内容	単元目標	授業形態	時数
1 学期	「総合的な探究の時間について知ろう」 ・オリエンテーション	(知) 1年間の総合的な探究の時間についての大切さを理解する。 (思) 1年間の総合的な探究の時間について知り、そのために身に付けておくことを考える。 (学) 総合的な探究の時間についての必要性を感じ、意欲・関心を高める。	学級	1
	「平和について考える」 ・平和に向けた取り組み ・校外学習 ・新聞作り	(知) 「平和」の意味や生活の中にある「平和」について考えたり、平和都市広島で生活する人間として、どのような平和の発信ができるかについて考えたりすることができる。 (思) 情報機器を使用して自ら調べたり、情報を取捨選択したりしながら、自分の意見をまとめたり、発表したりすることができる。 (学) 課題解決に取り組み、周囲へ発信したり、仲間と一緒に活動したりすることを通して、仲間や社会とのより良い関係を作ろうとする態度を養う。	学級	4
	「出島クリーン作戦(1)」 ・事前学習 ・ゴミの分別について ・清掃活動	(知) 学校や地域にある課題を見付け、学校や地域のためにできることについて考えたり、活動したりすることができる。 (思) より良い活動するために意見を伝える、情報を収集・分析する、改善案を考えるなどの活動を行うことができる。 (学) 課題解決に向けて主体的・協働的に活動し、充実した活動にしようとする態度を養う。	学年 類型 学級	8
1学期授業時数				13
2 学期	「出島クリーン作戦(2)」 ・事後学習 ・ゴミの分別について ・清掃活動	(知) 学校や地域にある課題を見付け、学校や地域のためにできることについて考えたり、活動したりすることができる。 (思) より良い活動するために意見を伝える、情報を収集・分析する、改善案を考えるなどの活動を行うことができる。 (学) 課題解決に向けて主体的・協働的に活動し、充実した活動にしようとする態度を養う。	学年 類型 学級	7
	「SDG'Sについて考えよう」 ・SDG'Sについて知る ・SDG'Sについて調べる ・物づくりや新聞づくり	(知) SDG'Sの意味や生活の中にある「SDG'S」について知ることができる。 (思) 身近な物から持続可能なリサイクル方法を調べたり、考えたりすることができる。 (学) 問題解決のために自分ができる事を見付け、行動を起こそうとする態度を養う。	学級	2
	「国際理解学習」 ・外国の文化について知る。 ・会話や音楽など体験・交流をする。	(知) 世界の文化に触れることで、国際理解学習の必要性について知る。 (思) 世界の言語や音楽、食文化などを知り、見聞を広める。 (学) 国際理解学習について興味関心を深める。	類型 学級	2
	「卒業証書授与式の取組」 ・卒業証書の受け取り方 ・卒業生旅立ちの言葉練習 ・入退場の練習 ・呼名の練習	(知) 卒業証書授与式の流れや卒業証書の受け取り方、「卒業生旅立ちの言葉」について理解し、見通しをもって活動することができる。 (思) 自分の活動内容とポイントを意識しながら、卒業証書授与式の練習を行うことができる。 (学) 学生生活の集大成として、立派に成し遂げようとする態度を養う。	学年 類型 学級	4
2学期授業時数				15
3 学期	「卒業証書授与式の取組」 ・卒業証書の受け取り方 ・卒業生旅立ちの言葉練習 ・入退場の練習 ・呼名の練習	(知) 卒業証書授与式の流れや卒業証書の受け取り方、「卒業生旅立ちの言葉」について理解し、見通しをもって活動することができる。 (思) 自分の活動内容とポイントを意識しながら、卒業証書授与式の練習を行うことができる。 (学) 学生生活の集大成として、立派に成し遂げようとする態度を養う。	学年 類型 学級	5
	「身近なICTの使い方について知ろう」 ・ネットワークの使い方 ・SNSトラブルについて ・適切な使用を目指して	(知) 身近にあるネットワークやSNSが人や社会に及ぼすことについて知ることができる。 (思) ネットワークやSNSとの関わり方について考えたり、発表したりすることができる。 (学) 正しいインターネットの使い方を知り、責任ある行動をしようとする態度を養う。	学級	2
3学期授業時数				7
総授業時数				35